



愛着と誇り

創	立	昭和 32 年 4 月 19 日
会	長	藤 岡 宏 章
会 長	エ レ ク ト	菅 生 康 清
副	会 長	高 橋 靖
幹	事	関 俊 昭
広 報 会 報 記 録		中 林 隆 男



事務局（例会場）
 檀原市久米町 652-2
 檀原ロイヤルホテル 4F
 TEL/0744-28-2801（直通）
 FAX/0744-28-2802
 E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp
 TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日
 毎週金曜日
 12時30分から13時30分
 Vol. 61 No. 26 (2017-18)
 2018(平成30)年1月26日発行

1月は、「職業奉仕月間」(Vocational Service Month)です。

第 2962 回例会報告書

2018 (平成 30) 年 1 月 19 日

司会	SAA・野口洋司会員
R.song	我等の生業
ソング・リーダー	堀部光志会員
ピアノ奏者	京田留奈さん
	メンデルスゾーン作「春の歌」
	チャップリン作曲「スマイル」

ゲ ス ト

卓話講師：奈良県観光局長 森田康文氏

出 席 報 告

正会員 43 名		
(1/19)	出席者 31 名	出席率 86.11%
(1/5 補正)	出席者 32 名	出席率 88.89%

ニ コ ニ コ 箱

◎本日卓話担当です。よろしくお願ひします。
 ……………尾田肇睦会員

会 長 挨拶

○皆様こんにちは。寒くなったり暖くなったり不安定な気候が続いている。体調には十分お気を付けきたい。

○2月9日から平昌オリンピックが開催されるが、その前日に北朝鮮が軍事パレードを行うそうだ。そして米韓合同演習も行われるそうだ。北朝鮮そして極東アジアの危機が高まってきているのではないかと感じている。

○1月14日(日)地区職業奉仕講演会に6名で参加した。第1部は元RI理事の千 玄室氏による講演「決議 23-34 への思い」、第2部はパストガバナー刀根 莊兵衛氏による講演「決議 23-34 歴史的背景と意味」であった。ロータリーの原点は職業奉仕であるが、最近、RIでは社会奉仕、青少年奉仕にも重点を置くということに変わってきている中で、地区としては職業奉仕が原点であると仰っておられたのではないかと思います。

先日皆様に FAX にてご案内させて頂いたが、3月28日(水)～3月30日(金)に台湾の桃園福宏 RC の訪問を予定している。福島県の郡山安積 RC と今年度中に友好クラブの締結を目指しているが、その

ご縁で、郡山安積 RC の姉妹クラブである台湾の桃園福宏 RC の 7 周年記念祝賀会に参加する予定だ。是非皆様にもご参加頂きたく思う。ご参加頂ける方は本日中に申し込みをお願いしたい。

幹 事 報 告

(代読：下辻真人副幹事)
 △クラブからのご案内等の配布方法について
 現在、クラブからのご案内は、例会時のポスティング、FAX での送信にて皆様にお届けしているが、さらにご覧頂きやすいよう、メールでの送信を考えている。ご希望の配布方法をご記入頂き、1月末日までに事務局までご返信頂きたい。なお、メールをご希望の方はメールアドレスの記入を忘れずをお願いしたい。※詳細はメールBOXにて。
 △地区より「第19回ロータリー国際囲碁大会」
 ※詳細は掲示板にて。

委 員 会 報 告

○野球同好会：豊田博樹会員
 ・ガバナー杯野球大会について
 先日1月16日に琵琶湖ホテルで行われた組合せ抽選会に出席し、抽選の結果、当クラブの試合日程は3月10日(土)第1試合 長浜東 RC との対戦となった。当日は8時30分から開会式も開催されるので、メンバーの皆様にはご出席の程、よろしくお願いしたい。

卓 話

担当：尾田肇睦会員
 講師：奈良県観光局長 森田康文氏

「滞在型観光の一層の推進への
 具体的取り組み」

・奈良県観光の現況と課題
 奈良県観光は、近年、順調に発展するきざしが見えてきています。全国と同様に奈良県の宿泊観光客数は、



平成23年の202万人が、28年には、252万人と増加傾向にあり、外国人観光客入込数も、平成26年の66万人から28年には165万人と急激に伸びています。外国人のべ宿泊者数も平成23年の3万4千人から、28年には30万人と増えました。国別では中国、台湾、香港をあわせて約7割となっています。

奈良県の一層の観光振興による地域経済活性化の好機だと思います。そのため、県や市町村、観光団体、事業者がともに、宿泊観光客と観光消費額を増やすことを明確な目標として取組みを進める必要があります。その際、①宿泊施設を増やすこと ②観光地の魅力をさらに創り出すこと ③新規顧客を開拓することの3つが基本だと考えます。

①宿泊施設を増やす

奈良市内ではJWマリオットホテルの整備が進んでいて、この外資系ホテルの立地決定以降、県内でホテル事業を検討する企業が増えています。橿原市ではこの2月にカンデオホテルズが開業されます。ほかにも桜井市と天理市でルートイン、宇陀市では休暇村協会、明日香村では星野リゾート、斑鳩町では和空法隆寺、とそれぞれ計画が具体化しています。また趣のある古民家を活用したゲストハウスも増加傾向にあり、桜井、明日香など中和地域でも開設されています。このように県内宿泊の選択肢を広げることで滞在を促し地域への経済効果を確保することが重要と考えます。

加えて、住宅宿泊事業法の成立を受けた県条例を3月に制定予定で、今年6月からいわゆる民泊営業が可能となります。本県としては適正に管理された良質な民泊も宿泊の選択肢として生かしていく考えです。

②観光地の魅力をさらに創り出す

滞在客を増やすためには、その地を訪れようという思いをかきたてる魅力が必要です。

観光資源が豊富といわれる本県も観光地として発展するためには常に新しい魅力を創り、磨きをかけていく努力を重ねないといけません。

橿原市の例を紹介すると、藤原宮跡での春夏秋冬の花畑作り、今井町の街並み整備、橿原商工会議所による外国語表記の普及など、地域資源を生かして積極的に取組んでおられ、必ずその成果が出てくると思います。明日香村のキトラ古墳周辺地区整備や桜井市の纏向遺跡のクラウドファンディングによる整備も同様の取組です。また、お店巡りも観光の楽しみの一つです。葛城市「かつらぎ」、田原本町「レスティ唐古・鍵」といった道の駅や、今井町、宇陀松山、五條新町などの町家を生かしたレストランなど新しい魅力が少しずつ加ってきています。イベント開催や特色あるお土産物の開発も楽しさの要素として大切です。

③新規顧客を開拓する

製造業や小売業と同様に、観光についても充実した商品やサービスを、顧客に買ってもらおう努力が欠かせません。そこで、県デジタルビューローでは、県内各地の観光資源を付加価値の高い旅行商品として仕立てて販売することに取組み、年々実績を伸ばしています。また海外観光客については、フランスからの誘客増加を重点的に進めるため、県の営業員を一名パリに配置して、現地旅行者への売込みを通じた誘客促進を行っています。さらに今年からビジネス需要の開拓にも本格的に取り組めます。これまで医学系などの学会誘致は実施していましたが、それ以外にも県外や海外の大手企業の視察旅行、商談会、展示会を奈良県へ誘致できる可能性があることがわかってきたので、そのような手配を行う専門事業者積極的に営業を進めて参ります。

以上のような幅広い努力を積み重ねることで、奈良県への滞在客を増やして県内各地の経済活力を増進していきたいと思っております。ぜひ皆様には、ご注目、ご支援下さいますようお願い申し上げます。

【例会ご案内】

2月2日(金)《第1例会》

「橿原市からはじまる

医学を基礎とするまちづくり」

奈良県立医科大学 MBT 研究所 講師 遊佐敏彦氏

担当：山川 賢会員

2月9日(金)《第2例会》

「今後の日本経済・地元経済」

一般財団法人 南都経済研究所 常務理事

東尾 稔氏

担当：矢吹吉男会員

2月16日(金)《第3例会》

「今日から確定申告が始まるぞ！」

担当：長谷川博章会員

2月23日(金)《第4例会》

職業奉仕部門委員会担当移動例会

3月2日(金)《第1例会》

「東アジア情勢とトランプ政権」

産経新聞 大阪本社

編集局次長兼政治国際部長兼論説委員

長戸雅子氏

担当：プログラム委員会

【同好会】

書道同好会

1月26日(金)・2月2日(金)・2月16日(金)

→午後2時～ 4階 楓の間

【RAC 例会】

〔橿原オークホテルにて、午後7時半～9時〕

2月14日(水)《第1例会》

クラブ奉仕②

2月28日(水)《第2例会》

社会奉仕②

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。